

経営比較分析表（令和4年度決算）

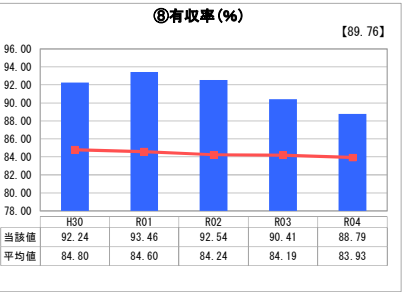
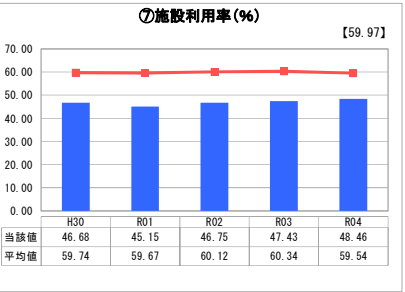
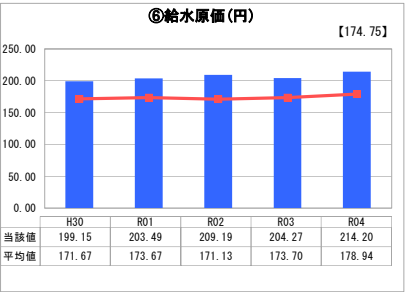
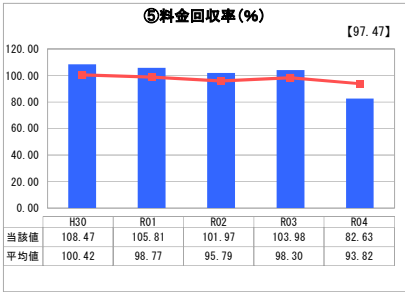
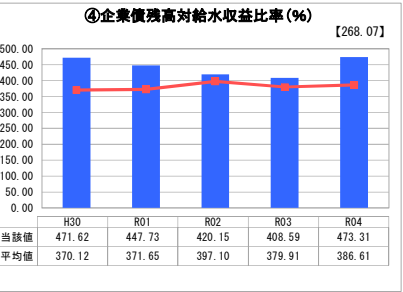
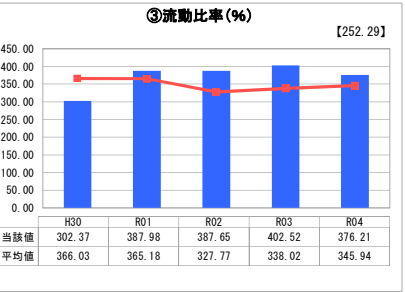
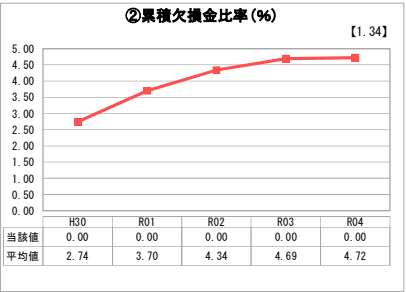
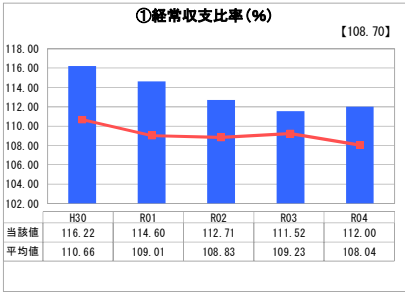
福岡県 苅田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	65.39	96.90	3,130	

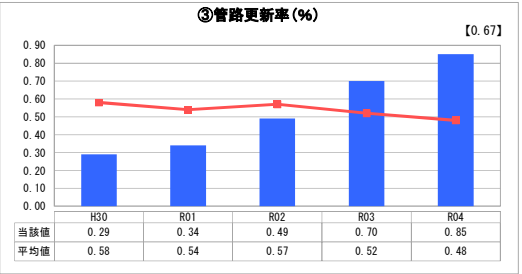
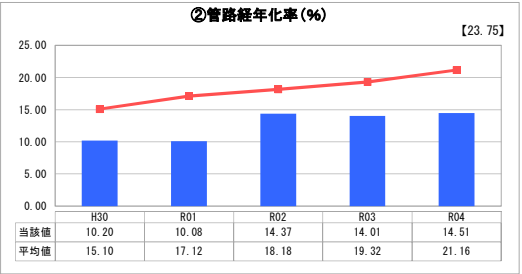
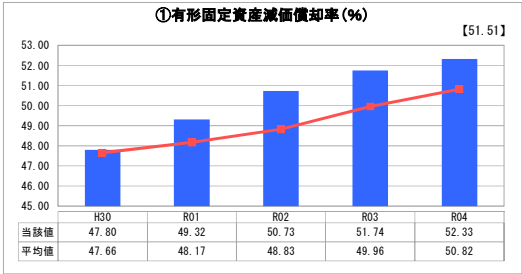
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,767	49.58	761.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
36,444	37.30	977.05

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、給水収益等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。本町においては単年度収支が黒字であることを示す100%以上となっています。ほぼ横ばいで推移しており類似団体平均値を上回っています。

②累積欠損金比率は、営業収益に対する累積欠損金の状況を示す指標です。本町においては累積欠損金がないため0%となっており類似団体平均値を上回っています。

③流動比率は短期的な債務に対して支払うことが出来る現金等がある状況を示す指標です。本町においては類似団体平均値を上回っています。

④企業債残高対給水収益比率は給水収益に対する企業債残高を示す指標です。本町においては企業債残高は減少傾向であるものの、給水収益が減少したため若干悪化しており、類似団体をやや上回る水準で推移しています。

⑤料金回収率は給水に係る費用がどの程度給水収益で賄えているかを表す指標です。本町においては、給水収益が減少したため100%を下回っています。

⑥給水原価は、有収水量1m³あたりについてどれだけの費用がかかっているかを表す指標です。本町においては類似団体平均値を上回っています。

⑦施設利用率は施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。本町においては類似団体平均を下回っています。

⑧有収率は、施設の稼働が収益につながっているか判断する指標です。本町においては類似団体平均を上回っています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は減価償却がどの程度進んでいるかで資産の老朽化度合いを示す指標です。本町においては上昇傾向にあり類似団体平均値や全国平均値をやや上回っています。

②管路経年化率は、耐用年数を超えた管路の割合を示す指標です。本町においては類似団体を下回っています。

③管路更新率は当該年度に更新した管路延長の割合を示す指標で、管路の更新ペースを示しています。本町においては類似団体平均を上回っています。

全体総括

本町水道事業の経営状況は、物価高対策として、半年間の基本料金免除の施策を行ったため、給水収益が減少し、給水収益に関係する指標の悪化が見られました。今後、給水収益は前年度並みに回復する見込みですが、大幅な給水需要の増大は見込めず依然として厳しい経営環境にあります。

この中で、水道施設においても高度経済成長期に構築された施設が多いため、老朽施設の更新時期を迎えてきています。

今後も管路等の更新計画や経営戦略に沿って事業を行い、安定給水のために料金水準の適正化や計画的な施設の更新、施設の効率化など経営の効率化を進めていきます。